



環境報告書  
2012

*Creation & Harmony*



**SK-Electronics CO., LTD.**

# 「自然との調和」 *Harmony*



## コンテンツ

|                   |    |         |    |
|-------------------|----|---------|----|
| ごあいさつ             | 02 | 社内環境活動  | 06 |
| 環境への取り組み          | 02 | 社会貢献活動  | 08 |
| 環境活動の歩み           | 03 | 環境保全活動  | 09 |
| 環境管理組織            | 03 | 今後の取り組み | 10 |
| 環境マネジメントへの具体的取り組み | 04 | 会社概要    | 10 |

## 編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

## ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境負荷低減や環境保全のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

## 環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)を、2002年に京都工場、2005年に本社、そして2011年には、滋賀工場の拡張認証を行いました。

また、環境理念に基づく5つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成する為に環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申し上げます社会貢献活動や環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

### 経営理念

#### 「創造と調和」

### 環境理念

常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

### 環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を予防し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. 環境教育を実施します。
4. 社会貢献活動を実施します。
5. 環境関連の法律、規制および協定を遵守します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



## 環境活動の歩み

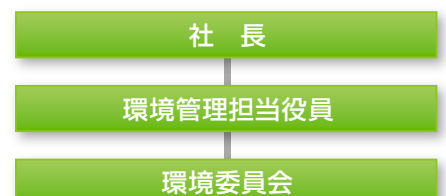
|       |        |   |
|-------|--------|---|
| 2001年 | 10月    | 株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立  |
| 2002年 | 9月     | 京都工場でISO14001認証取得   |
| 2005年 | 5月     | 本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート   |
|       | 12月    | 本社でISO14001拡張認証取得   |
| 2006年 | 8月     | 本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)  |
| 2007年 | 11月    | 社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)   |
| 2008年 | 6月     | 京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置  |
|       | 8月     | 京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参加  |
|       | 10月    | 「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加   |
| 2009年 | 3月     | 「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加   |
|       | 5月～10月 | 京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置   |
|       | 7月     | 第1回京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施   |
|       | 11月    | 第1回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施<br>発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始<br>滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始 |
| 2010年 | 2月     | 関西盲導犬協会への支援活動を開始  |
|       | 3月     | 「水源の森づくり」植樹作業に参加  |
|       | 5月～10月 | 京都工場の近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置  |
|       | 7月     | 第2回京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施   |
|       | 10月    | 滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加  |
|       | 11月    | 「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加<br>第2回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施                                     |
| 2011  | 5月～10月 | 京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置  |
|       | 7月     | 第3回京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施   |
|       | 12月    | 第3回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施<br>滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加                                  |
| 2012  | 3月     | 「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加   |
|       | 4月     | 第4回京都工場周辺清掃活動として「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施   |
|       | 5月～9月  | 恒例となっている幼稚園への京都工場近隣の「緑のカーテン」を3園に設置  |

P9

## 環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組めます。

### 環境管理組織図



## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### 環境目標

#### 環境3ヵ年計画の実績

##### 第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO<sub>2</sub>削減と廃棄物削減に取り組みました。CO<sub>2</sub>削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をする事が出来ました。

※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

##### 第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO<sub>2</sub>および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO<sub>2</sub>削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

##### 第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動が無いよう取り組んでいきます。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3ヵ年計画では再度目標に掲げて削減を推進する事といたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組む事といたしました。

##### 第4期 (2011年9月期～2013年9月期)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、会議時間短縮、やり直し作業撲滅、資料の統合、資料廃止検討などを具体的テーマにして削減に臨んでいます。コピー用紙の削減については、電子決裁導入により、決裁書、見積書、資料などの紙使用が無くなることが見込まれ、削減に期待が持てます。エネルギー使用量削減については、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みでもあります。

実績の詳細については、5頁に記載の通りです。

## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### 本社

#### ● 具体的施策による残業時間の削減

環境マネジメントの一環として、残業時間の削減を目標に掲げ、3ヵ年計画で毎年3%（3年で9%削減）を目指しています。残業時間の削減により、業務の効率化からもたらされる照明やエアコン、パソコン、コピー機等のOA機器の電力量の削減が見込め、省エネ活動に大きく貢献することを目指しています。

結果としては、前年度比7.3%削減とはなりましたが、前年度実績が悪かったため、2ヵ年トータルで見ると残念ながら7%の増加と目標には届いておりません。各職場では目標に対する意識を徹底させ、さまざまな工夫を積み重ねることにより、来期に向けての目標達成を目指して活動を進めています。

#### ● 電子決裁システム導入などによるコピー用紙の削減

コピー用紙においても3ヵ年計画（毎年2%、3年で6%削減）で購入量の削減を目標に掲げ、取り組んでおります。

従来からの両面コピーや縮小コピーの活用、ミスコピーの撲滅などの工夫に加えて、電子決裁システムを導入した効果により、購入量は前年度より6.8%削減することができ、2年目にして3ヵ年計画の目標を達成することができました。今後も3ヵ年計画を上回るチャレンジ目標を立てて引き続き削減に努めていきます。

#### ● エネルギー使用削減（原油換算）

エネルギー使用量の削減も3ヵ年計画（前年度に対し2%削減3年で6%削減）を掲げ、取り組んでいます。

昨年に引き続きスーパークールビズ・ウォームビズの取り組みを行いました。

昨今の電力事情もあり、節電意識が一層高まり、空調温度設定や昇降機の利用制限等以外にも多方面からの活動や残業・PPCの削減活動が功を奏して、前年度比8.35%削減することが出来ました。その結果、3ヵ年分の目標をすでに達成となりましたが、今後も引き続き、省エネ活動を実施していきます。

### 京都工場

#### ● 京都工場 エネルギー使用量削減

京都工場では、2010年度の実績を基準年とし、3ヵ年計画でエネルギー使用量の毎年2%削減（3年間でトータル6%の削減）を目標に掲げています。

取り組みとしては、今年もスーパークールビズ・ウォームビズを導入し、空調制限、網戸や扇風機も設置し出来る限りの節電に努めました。また社有車のハイブリッド化、冷凍機の動作設定の見直し等を実施致しました。

その結果、本年度はエネルギー使用量（原油換算）3,171klで、基準年の3,400klに対し、6.7%削減、2年目にして3年間の目標6%を超えることができました。今後も引き続き、省エネ活動を進めてまいります。

## 環境マネジメントへの具体的取り組み

### 滋賀工場

#### ● 滋賀工場 エネルギー使用量削減

滋賀工場では2010年10月から3ヶ年計画で、エネルギー使用量を初年度比毎年1%削減の目標を掲げています。

オール電化の滋賀工場では主に電力削減に取り組みました。空調関係では温調倉庫の温度設定の見直しや、事務所のエアコンの温度設定の固定化を行いました。また、エアコンの室外機に当たる太陽光を緩和するため、すだれの設置も行いました。

工場付帯設備関係では、熱源設備機器設定変更による最適化、低損失フィルターやエコベルト等、省エネ部品への交換などを行いました。また、夏の省エネ期間においてはエレベーターの休止も行いました。

その結果、初年度累積電力量6,404.756MWhに対し、今年度は5,972.436MWhと6.7%削減、原油換算では109,809.28Lの削減となり、2年目の目標である2%を達成しました。引き続き、環境マネジメントの一環として省エネ活動に取り組んでいきます。



エアコン室外機のすだれ

## 社内環境活動

#### ● 環境月間“こんなエコ見つけた”写真展

6月5日は環境の日と定められています。それに伴い、全社的に6月を環境月間として環境写真展を開催しました。テーマは“こんなエコ見つけた”で社員が行っているエコ活動や自分が見かけたエコに関する写真を展示しました。

自分の趣味に関係したエコ写真や今まで見かけなかったエコ製品などが紹介され、環境意識の向上を図ることができました。



本社展示



滋賀工場展示



京都工場展示

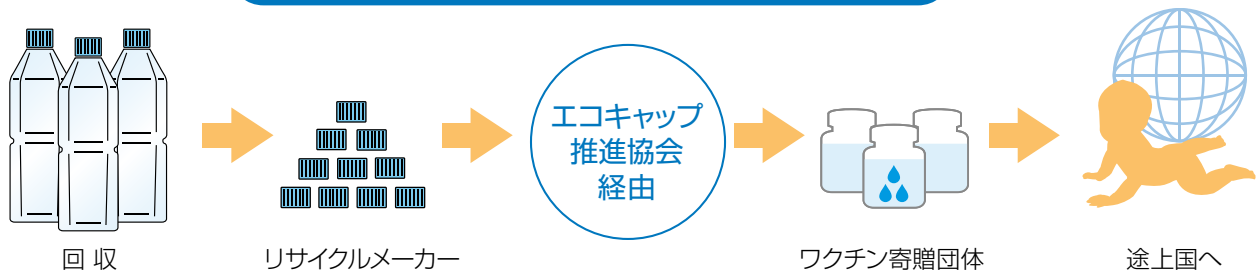
## 社内環境活動

### ● エコキャップ運動

地域・社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を開始しました。この運動はペットボトルのキャップを集めてリサイクル業者に売却し、その収益で発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈ることで再資源化およびCO<sub>2</sub>削減、社会貢献を図るものです。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2011年10月から2012年9月までに集まったエコキャップは11500個でした。これにより14人分のワクチン購入が可能となり90.6kgのCO<sub>2</sub>が削減できました。今後も社会貢献の一環として継続して取り組んでいきます。

#### エコキャップがワクチンになるまでの流れ



### ● ビデオを活用した環境教育

2012年3月、社内環境教育の一環として環境問題に関するビデオを本社・京都工場・滋賀工場にて上映しました。

今回は、各拠点あわせて6回開催し、外来生物が環境や生態系に及ぼす影響など身近な環境問題をテーマに約20分の環境ビデオを上映し、多くの社員が視聴しました。

今後も社員の環境意識向上を目指して、ビデオ上映会、講演会などを随時開催していきます。



京都工場でのビデオ上映風景  
(2012年3月15、19、23日開催)



滋賀工場でのビデオ上映風景  
(2012年3月15、22日開催)

### ● 滋賀農園

滋賀工場では2009年から工場敷地内に農園を設け、野菜作りを行っています。きゅうり、トマト、レタスなど従来栽培していた野菜に加え、2012年にはスイカやかぼちゃなど野菜の種類を増やしました。また、社員による植え付け祭も実施し、これからも野菜作りを通じて自然に親しむ意識の向上に努めていきます。



滋賀農園



植え付け祭



## 社会貢献活動

### ● 第3回 本社地域環境活動 「堀川周辺地域清掃」

2011年12月、社員有志にて本社ビル西側を流れる堀川周辺の清掃活動を行いました。

11月までは暖かかった気候も、12月に入りようやく冬らしくなり、紅葉も一段と進んでいました。

今回は、二条城の前まで清掃することができました。偶然、結婚式があったようで御所車に乗った新郎新婦が目の前を通り過ぎて行きました。京都には、紅葉やこのような風景がお似合いで、ゴミは似合いません。最近の世相を反映してか、スマートフォンもせせらぎ街道に捨てられていました。また、たばこの吸い殻も昨年より増加したように思います。

これからも、地道な清掃活動を通して、SKE社員に“ゴミは捨てない！”という意識をつけることを目指します。



参加者集合写真(27名)



御所車に乗っている新郎新婦



捨てられていたスマートフォン



せせらぎ街道の紅葉

### ● 第4回 京都工場地域環境活動 「近鉄大久保駅周辺地域清掃」

京都工場近くの清掃活動として恒例の“流れ橋清掃活動”を行う予定でしたが、今年は流れ橋が今年の台風で流れたままの状態のため、断念しました。

そこで今年は、京都工場への通勤・移動経路となる近鉄大久保駅周辺の清掃活動を行いました。

2012年4月、当日は天気も良く、汗ばむくらいの初夏の陽気の中、社員有志の参加者20名で空き缶やペットボトル、壊れた傘、弁当がら、ビニール袋、吸い殻等さまざまな種類のゴミを回収し、その量は27.8kgになりました。

今後も引き続きこのような地域に密着した清掃活動を行っていく予定です。



大久保駅から南へ



大久保駅から西へ



大久保駅改札前で記念撮影

## 環境保全活動

### ● 水源の森づくり

環境委員会のメンバーで以前から取り組んでいた“水源の森づくり”ですが、今回、京都市とNPOとの協賛活動に参画する目的で3月17日、右京区京北熊田町笹原峠の「合併記念の森」において、今後100年の森づくりをはじめの一歩として、式典と記念植樹やイベント参加者による植樹体験が行われ、「水源の森づくり」メンバーと一緒に参加しました。

当日は式典の後に小雨降る中、記念植樹が始まり、場所を移し、鹿防御ネットに囲まれた一角で、決められた区画ごとに職員の指導の下、広葉樹の苗を植樹しました。植樹するところは、元から根っこや腐葉土などがあり、土を掘り起こして植えるのになかなか進めることができませんでした。今回は、自然に触れ有意義な活動ができました。

今後も、環境保全に関する幅広い活動を検討していきたいと考えています。



式典参加者の記念写真



植樹しているところ



植樹後の記念撮影

### ● 緑のカーテン

地域貢献活動、環境保全活動の一環として始めた久御山町内幼稚園への「緑のカーテン」設置も、今年で5年目となりました。今年も久御山町立御牧小学校付属幼稚園、久御山町立佐山小学校付属幼稚園、久御山町立東角小学校付属幼稚園の3園へ設置を行いました。

「緑のカーテン」設置は、体感温度の上昇を抑えることと植物の花や実が成ることにより植物の成長を園児達に体感してもらい、身近な緑に関心をもってもらうことを目的としています。設置した植物は、ゴーヤ、ヘチマ、千成瓢箪です。

5月上旬にそれぞれの園へ訪問し、プランターの土作り、ネットの設置と苗の植え付けを行いました。苗の植え付けや水やりは園児達に手伝ってもらい、交流を図りました。

2008～2009年は生育状況が悪く「緑のカーテン」としての効果が少なかったため、2010年にはプランターの数を2倍にして土を改良した結果、外側と内側で5℃以上の温度差がある立派な「緑のカーテン」ができました。

今年も一昨年の成功を活かし、園児達に「緑のカーテン」の涼しさを実感してもらいたいと、肥料の追加や生育状況の確認を行いました。

昨年は、台風の影響などで残念ながら層の厚い「緑のカーテン」はできませんでしたが、今年は異常気象にもかかわらず例年よりも立派な層の厚い「緑のカーテン」ができました。

園児達には植物の成長を体感しゴーヤなどを味わっていただいたことにより、「緑のカーテン」を通して食育が実践できたのではないかと思います。

今後も、今までの反省点を活かし、より効果のある「緑のカーテン」の設置を継続し、地域貢献と環境保全に努めていきたいと考えています。



ゴーヤ



ヘチマ



千成瓢箪



苗植えの様子



緑のカーテン

## 環境保全活動

### ● 太陽光発電システムの活用

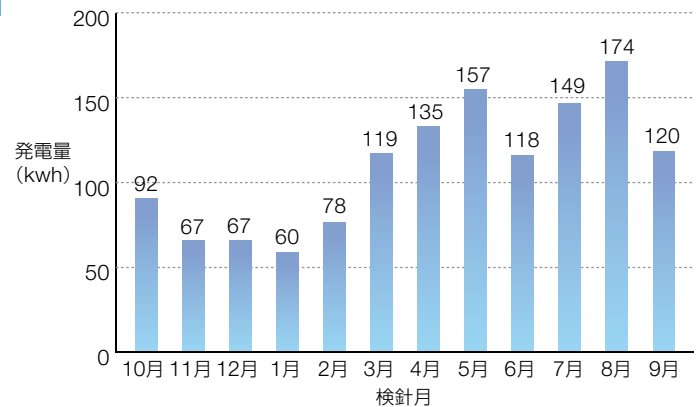
京都工場では、“クリーンエネルギー”である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下の様になっています。

今期の積算〈2011.10月～2012.9月〉

| 検針月 | 月次積算量(kwh) | 総積算量(kwh) |
|-----|------------|-----------|
| 10月 | 92         | 9,305     |
| 11月 | 67         | 9,373     |
| 12月 | 67         | 9,440     |
| 1月  | 60         | 9,500     |
| 2月  | 78         | 9,579     |
| 3月  | 119        | 9,698     |
| 4月  | 135        | 9,834     |
| 5月  | 157        | 9,992     |
| 6月  | 118        | 10,111    |
| 7月  | 149        | 10,260    |
| 8月  | 174        | 10,435    |
| 9月  | 120        | 10,555    |
| 合計  | 1,336      | 10,555    |

※総積算量については、2005.1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



## 今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

### ① 環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も継続的かつ積極的に実践し、社員の更なる環境意識の向上を図ってまいります。2010年10月からは、「新・環境3カ年計画」がスタートしており、新たな目標を設定して目的や効果を十分に理解しながら達成に向けて取り組んでまいります。

### ② 社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・工場周辺の清掃活動は8年目に入り、「緑のカーテン」は5年目を迎えました。また、本社近辺での“堀川清掃活動”や京都工場に訪れるとき利用する“近鉄大久保駅周辺”の清掃活動、そして滋賀工場では、所属する企業会でのテクノパーク内の清掃活動にも参画しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」、「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

### ③ 環境保全活動の実践

「水源の森づくり」では、社員の環境教育の場として、北山杉の人工林の現状を見て、今まさに必要とされている間伐作業を行なってきました。また、次の展開として、行政、NPO、企業が一体となった放置竹林の間伐作業にも参画しております。地球温暖化防止につながる取り組みについては、今後も積極的に参加し、環境理念の実現に取り組んでまいります。

## 会社概要

|      |                                      |                          |
|------|--------------------------------------|--------------------------|
| 社名   | 株式会社 エスケーエレクトロニクス                    | SK-Electronics CO., LTD. |
| 設立   | 2001年10月1日                           |                          |
| 本社住所 | 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2 |                          |
| 事業内容 | 大型フォトマスクの製造、販売                       |                          |
| 資本金  | 4,109,722 千円                         |                          |
| 従業員数 | 258名(2012年9月30日現在)                   |                          |



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**  
[www.sk-el.co.jp](http://www.sk-el.co.jp)



本社 / 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町436番地の2  
東京営業所 / 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目19番15号 アド・タイヘイビル6階  
京都工場 / 〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城62番地1  
滋賀工場 / 〒528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘38番

TEL. (075)441-2333(代) FAX. (075)441-4291  
TEL. (03)5425-6061(代) FAX. (03)5425-6062  
TEL. (0774)44-2921(代) FAX. (0774)48-2163  
TEL. (0748)65-1390(代) FAX. (0748)65-1391